

4. 英語リスニングについて

推薦入試(一般公募推薦)の適性検査Ⅰ及び一般入試前期A方式の外国語の試験において、英語リスニングを実施します。必ず、筆記とリスニングの両方を受験して下さい。どちらか片方しか受験しなかった場合、欠席扱い(選考対象外)となりますので注意して下さい。

試験時間

- ・推薦入試(一般公募推薦)では、試験時間35分の中で、音量確認等を行った後、15分間で音声問題を解答します。
- ・一般入試前期A方式では、試験時間40分の中で、音量確認等を行った後、20分間で音声問題を解答します。
- ・筆記とリスニングの間には、トイレ等のための休憩時間を設けてあります。

実施方式

- ・英語リスニングは、試験室単位での一斉放送により実施します。
- ・各受験者に、問題冊子・解答用紙等を配付します。
- ・解答に先立ち、監督者の指示に従い、音量の確認等を行います。
- ・受験者は、監督者の指示に従い、音声問題を聞き取り、設問ごとに解答用紙に解答をマークします。
- ・解答を問題冊子に記入しておき、後でまとめて解答用紙に転記する時間は用意されていないので注意して下さい。
- ・音声問題には、問題冊子を読んだり、解答するための音声の流れていない時間も設定されています。

英語リスニング受験上の注意

- ・英語リスニングにおいて、身体上の理由等により特別な配慮を必要とする方は、出願する前に必ず本学入試課(TEL 0561-75-1748〈直通〉)に連絡して下さい。
- ・英語リスニングは、他の試験とは異なり、遅刻を認めていません。試験開始時間までに必ず試験室に入室して下さい。
- ・英語リスニングは、一斉放送によって流れる音声を受験者が個々に聞き取りながら解答する試験です。他の受験者の聞き取りに支障をきたす不必要な音をたてることの無いよう注意して下さい。
- ・携帯電話については、必ずアラームの設定を解除した上、電源を切っておいて下さい。電源を切っていてもアラームが鳴ることがあります。事前にアラームの解除等の操作方法を確認しておいて下さい。
- ・英語リスニング中に日常生活騒音(航空機・自動車・風雨・空調の音等、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音等、携帯電話の短時間の鳴動等)が発生した場合でも、原則として救済措置は行いません。監督者が試験中断の指示をしない限り、解答を続けて下さい。
- ・英語リスニング中に退室することはできません。トイレ等は休憩時間中にあらかじめ済ませておいて下さい。
- ・解答時間中の質問は、一切受け付けません。

解答時間中の事故等と再開テスト

- ・解答時間中に放送設備の故障や音声の不具合があった場合、問題冊子に印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁があった場合、不慮の事故等により試験を続行することができない場合等、監督者の指示で試験を中断することがあります。この場合、英語リスニング終了後に、同じ試験問題で中断箇所のみ若しくは中断箇所以降を解答する再開テストを行います。